

救急絆創膏 34864000 一般医療機器 単回使用 [滅菌済]

ブラッドバン®

【届出番号:41B2X00001000007】

ブラッドバン® L

【届出番号:41B2X00001000010】

注射

採血

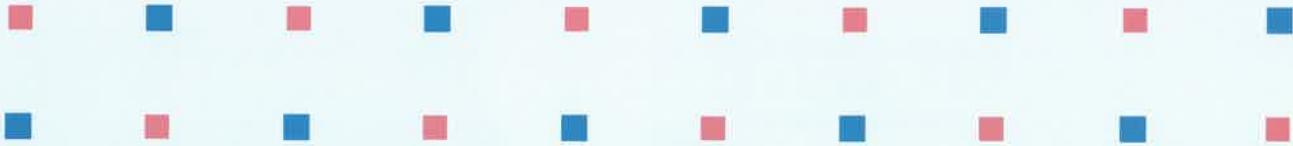
点滴

関節
穿刺

シーン

場面に合った

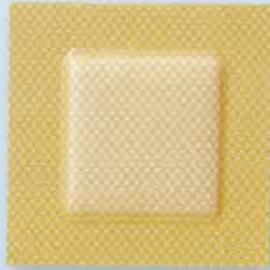
使い方のご提案



ブラッドバンの特徴

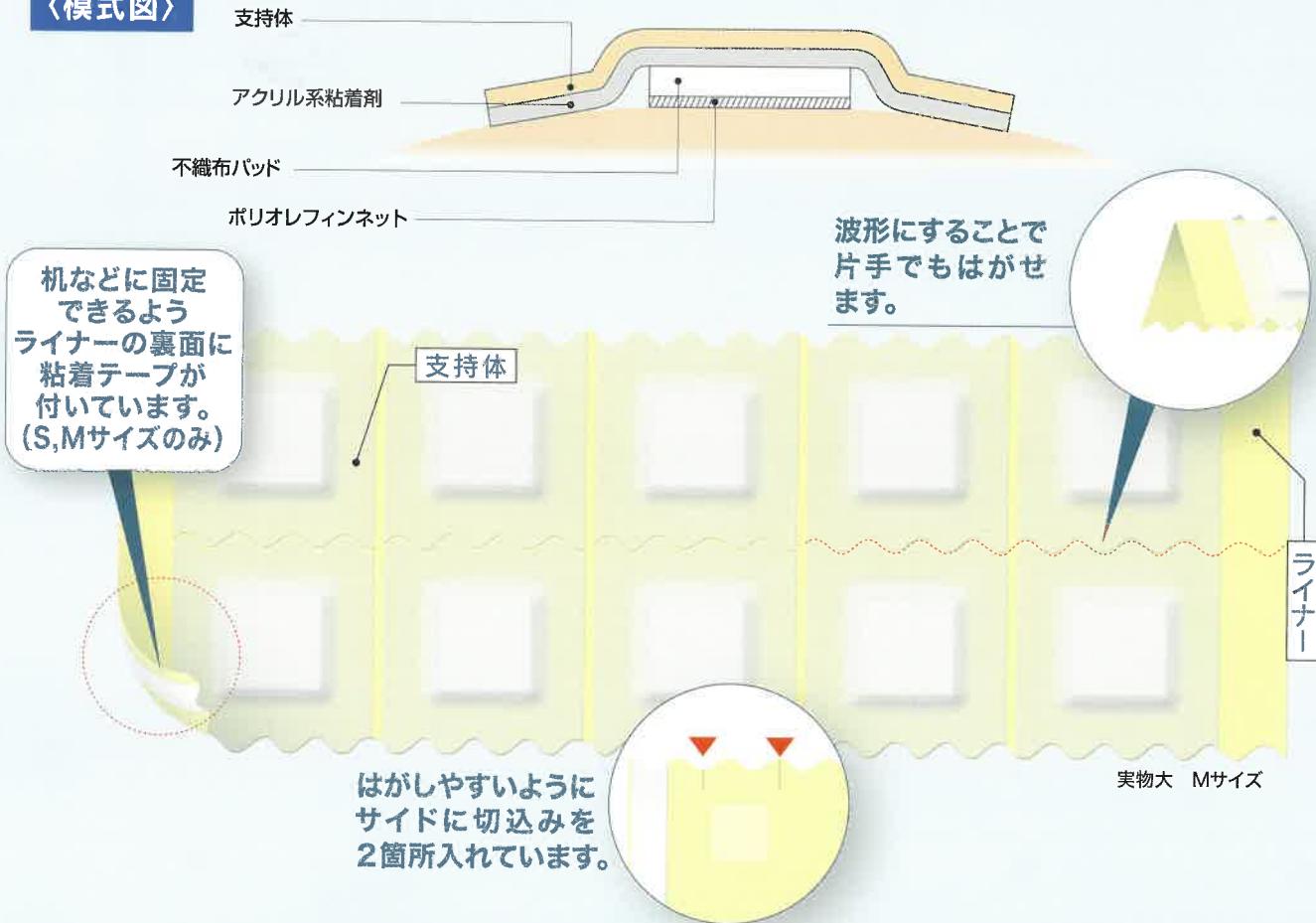
- ・EOG(エチレンオキサイドガス)で滅菌処理した衛生的なパッド付絆創膏。
- ・傷につきにくいポリオレフィンネット付不織布パッドを使用。
- ・皮膚刺激性の低いアクリル系粘着剤を使用(ラテックスフリー)。

ブラッドバンの形状・構造等

販売名	ブラッドバン		ブラッドバンL
サイズ	Sサイズ	Mサイズ	Lサイズ
針のゲージ*	27G~24G	23G~21G	20G~18G
大きさ			
	実物大 20mm×20mm (パッド 8mm×8mm)	実物大 27mm×27mm (パッド 13mm×13mm)	実物大 35mm×35mm (パッド 19mm×19mm)
支持体	アセテート布	アセテート布	塩化ビニルフィルム
用途例	予防注射の後に	採血や点滴の後に	関節穿刺などの後に

*針のゲージの数字が小さくなるほど、針は逆に太くなります。

〈模式図〉



プラッドバンの無菌性確認

【試験検体】

プラッドバンSサイズ(10回×10枚)を3袋開封し、開封口を約1cmの幅で2回折り曲げたものを検体とした。この検体を祐徳薬品工業株式会社試験室(21~27°C)にて開封直後のもの及び開封後1週間、2週間保管したものも試験に用いた。

【菌数測定項目及び試験方法】

● 一般細菌数(生菌数)

パッド10枚にSCDLP培地10mLを加え試験液とした。試験液1mLをSCDLP寒天培地に加え混釀平板とし、30±1°Cで3日間培養した。

培養後、出現した集落数を計測し、生菌数を算定した。

● カビ数

パッド10枚にSCDLP培地10mLを加え試験液とした。試験液1mLをGPLP寒天培地に加え混釀平板とし、25±1°Cで7日間培養した。

培養後、出現した集落数を計測し、生菌数を算定した。

● 黄色ブドウ球菌

パッド10枚にSCDLP培地10mLを加え試験液とした。試験液1mLをSCDLP培地に接種し、35±1°Cで2日間培養した。培養後、エッグヨーク食塩寒天培地に画線し、35±1°Cで2日間培養し、鑑別同定した。

プラッドバンの開封保管後の試験(菌数測定)結果

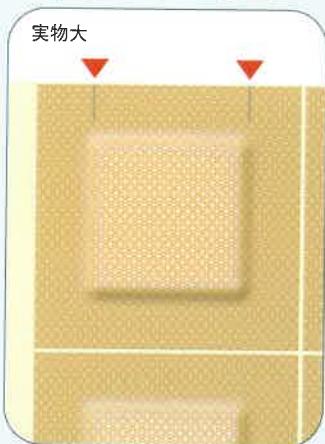
測定時期	検体	一般細菌数 (生菌数)	カビ数	黄色ブドウ球菌
開封直後	1	0/枚	0/枚	陰性/1枚
	2	0/枚	0/枚	陰性/1枚
	3	0/枚	0/枚	陰性/1枚
開封1週間後	1	0/枚	0/枚	陰性/1枚
	2	0/枚	0/枚	陰性/1枚
	3	0/枚	0/枚	陰性/1枚
開封2週間後	1	0/枚	0/枚	陰性/1枚
	2	0/枚	0/枚	陰性/1枚
	3	0/枚	0/枚	陰性/1枚

【試験結果および考察】

開封後のいずれの測定時期においても、すべての検体で一般細菌、カビ及び黄色ブドウ球菌は検出されなかった。以上のことから、日常的な環境下においてプラッドバンを開封した後、開封口を折り曲げるなどした状態にすることで、少なくとも2週間程度は一般細菌、カビ及び黄色ブドウ球菌による汚染を防ぐことができるものと推測する。

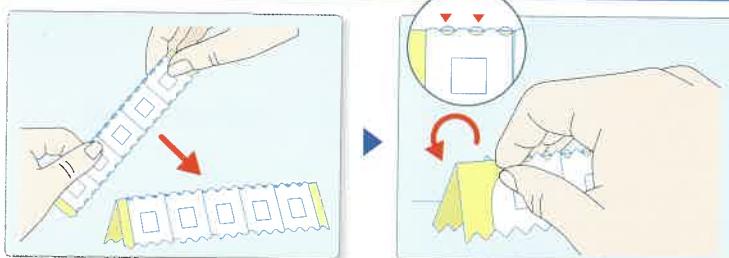
使用場面(シーン)

プラッドバンL



はがしやすいようにサイドに
切込みを2箇所入れています。

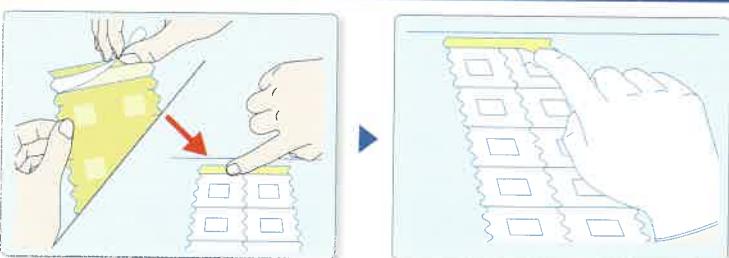
診察室



袋から取り出し、折り曲げます。

片手で簡単にはがせます。

採血室



裏面の粘着テープを使って、
机などに固定します。

ゴム手袋を着用したままはがせ
ます。



Sサイズ 1000回
(10回×10枚)×10袋



Mサイズ 500回
(10回×10枚)×5袋



Lサイズ 500回
(10回×10枚)×5袋

販売名	サイズ	包 装		JANコード
Bradban	S	1000回	(10回×10枚)×10袋	4 987235 011093
	M	500回	(10回×10枚)×5袋	4 987235 011109
Bradban L		500回	(10回×10枚)×5袋	4 987235 011116

製造販売元



祐徳薬品工業株式会社
佐賀県鹿島市大字納富分2596番地1

TEL0954-63-1231(代)

2020年8月作成
<BL-DI01-001>